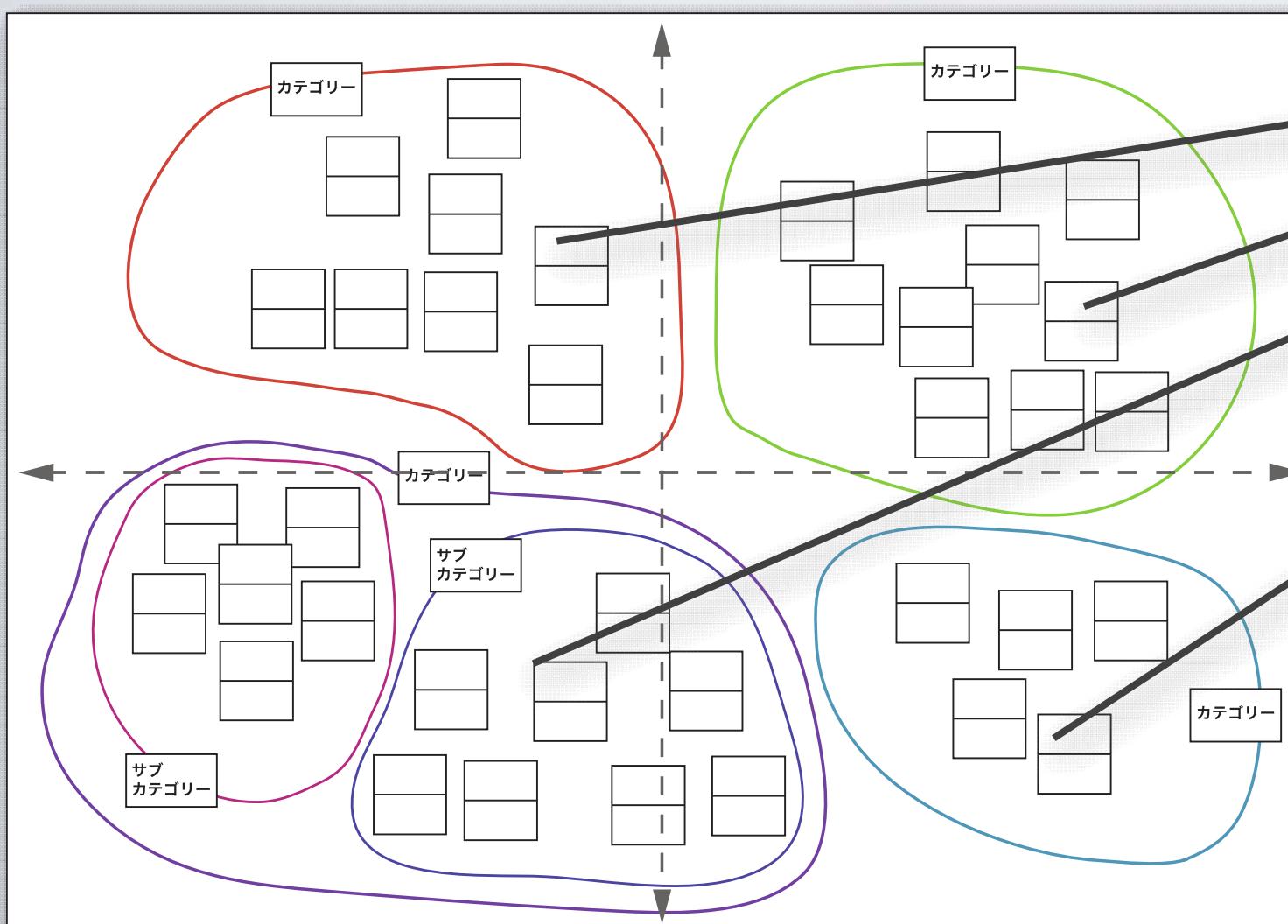


Rapid Ethnography, How ?

問題の構造化・再定義

2. デザインテーマ抽出

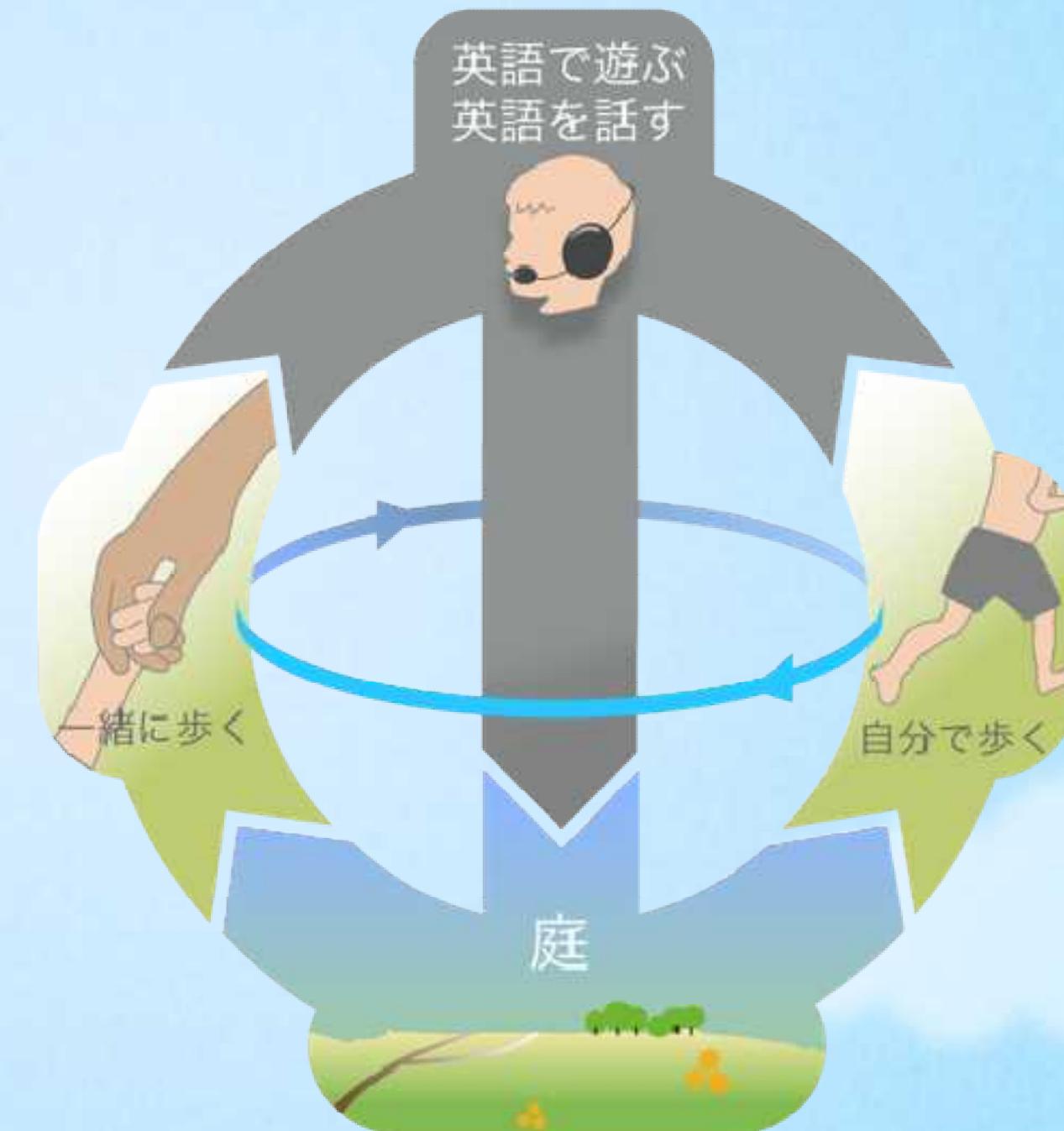


次世代ラジオ ピクセラ

Rapid Ethnography, How ?

概念モデルの生成

解決指針_概念モデル



Rapid Ethnography, How ?

解決案の創出

1. ブレインストーミング

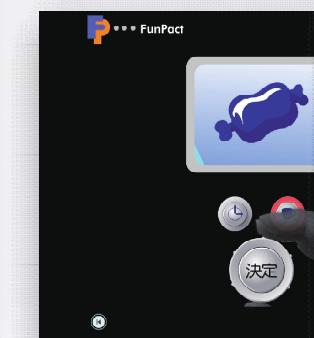
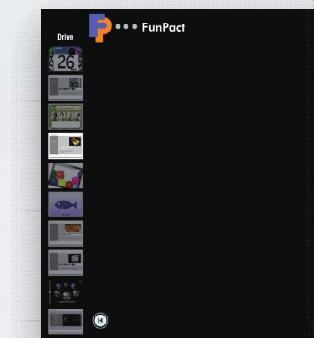
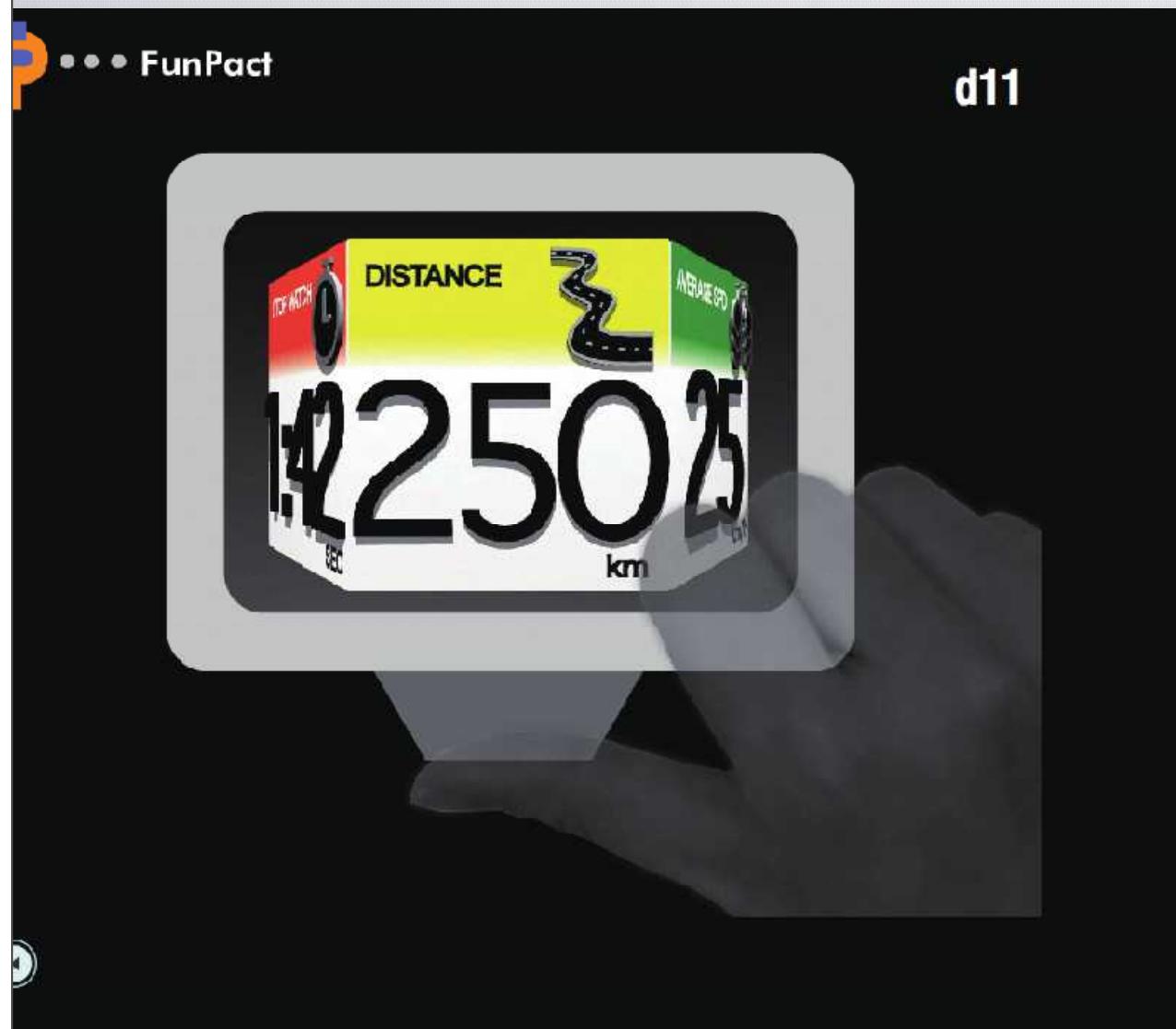


Rapid Ethnography, How ?

医療用機器プロジェクト (株) 堀場製作所

解決案の創出

2. ラピッドプロトタイプ



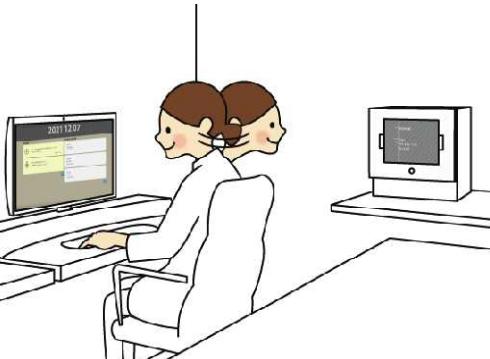
小型画面インターフェース研究 (NEDOプロジェクト) (株) コト

Rapid Ethnography, How ?

解決案の創出

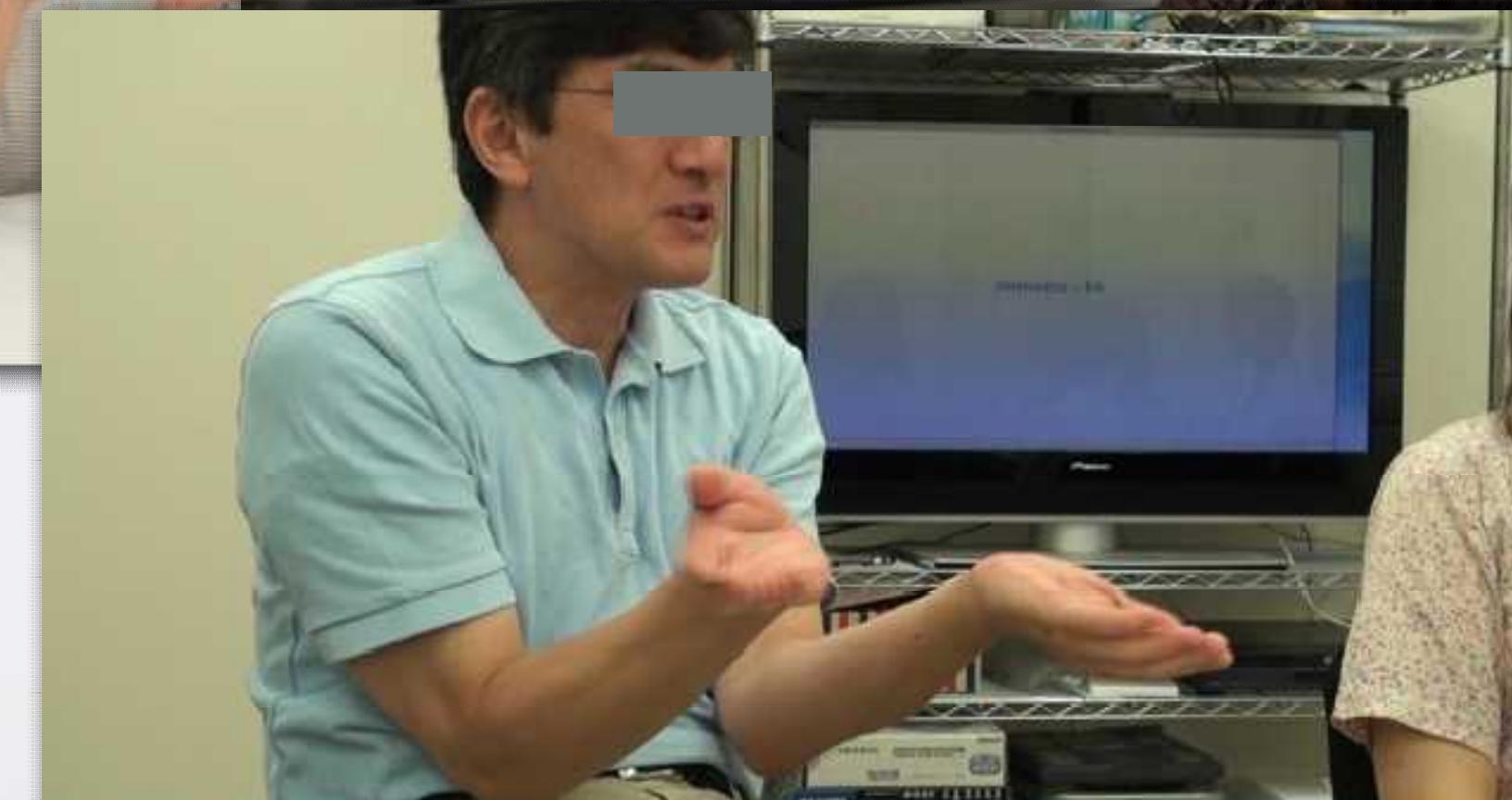
3. シナリオ生成

分析装置デザイン 島津製作所

TIME	TASK	ACTION	SYSTEM	FEELING
9:00	・研究室での通常準備	・学部生、修士課程学生をリードし、共用スペースの清掃作業を行う。		
				
9:30	・メール確認と予定確認	・自席にあるパソコンを起動し、メールアプリ、SHIMADZUホームベースアプリ(HBA)を自動起動させる。 ・メールの到着リストを確認する。 ・取りあえず緊急性のあるメールはなかったが、SHIMADZUハンズからの今日の実験についてのアドバイスマailが入っている。知っている内容ももちろんあるが、同種の実験をしている世界中の研究者に関するトピックもあり、おもわず読む。 ・ウィンドウをHBAに切り替え、今日の予定を確認する。今日のスケジュール欄にはHPLCを使った実験が記載されている。 ・HBAでは実験計画の詳細や、予約状況などもすぐに分かってしまう。	・パソコンの電源ボタン押下と起動音 ・メールアプリ ・マウスによるアプリのウィンドウの切り替え ・メールアプリやと連動したソフトウェアとしてのSHIMADZUホームベースアプリ ・HBA上での予約画面、個人データ領域での実験計画画面	・以前は、指導教員からの突然のメールで実験予定を変更しなくてはならないこともあったが、私の研究に関わる予定は一応チェックしてくれるようになつたので、安易な緊急指令はなくなった。 ・SHIMADZUハンズからのアドバイスマailは、実は結構うれしい。予定のリマインドとしては、もちろんだが、世界中の研究情報もカスタマイズされた内容で送られてくるので、研究意欲もわいてくる。 ・SHIMADZUホームベースは、日常のアプリとつながっているので、実験と他の仕事のつながりが出てきたし、そのため、時間の有効活用が行える。
				

产学連携デザインプロジェクト事例

検証



Rapid Ethnography, How ?

実体化

プロトタイプ



分析装置デザイン 島津製作所

組織的リフレーミング・プロセス

適用事例

写真提供：ベネッセコーポレーション



ラピッド・エスノグラフィー？

What

Why

How